



## 物部川

### ☆ 夏季休業期間の過ごし方は？

長引くコロナ禍に加え、停滞する前線がもたらす記録的大雨が断続的に降り続き、子供たちや地域の皆さんにとって大変な夏休みとなっています。国道から見る物部川も濁流が渦を巻きながら、ものすごい勢いで流れ下っています。危険な場所には近づかないよう、くれぐれも安全第一に過ごしてください。

警報や注意報が、メール等で発信されます。最新情報を確認しご家族で声を掛け合い、身の安全を守ってください。

各学校におきましても夏季休業期間中の子供たちの過ごし方にはが配慮いただいております。27日の2学期始業日に向けて組織的・計画的に準備を進めていただきますようお願いいたします。

### ◇ 香美市立美術館

夏季休業期間中といえども保育園は休園ではありません。小中学校においても、休業期間を活用し、多様な研修会を校外で実施しています。

日頃多忙で慌ただしい日常から、ほんの少しですが、『研修をしない期間』などを活用し、私

ども大人もリフレッシュを図りたいものです。

そこで、コロナ禍の中でも英気を養い豊かな気持ちになることができる身近な「香美市憩いのスポット」を紹介いたします。香美市立美術館では、現在、高知県にゆかりの若手作家の作品が展示されています。田中愛子、筒井美夏、深浦亜希、坂本聖斗、はらわたちゆん子、Mitsu Maeda、横山千春7名の作家の皆さんの個性あふれる作品に囲まれるとどこか違う世界に足を踏み入れたような新鮮な感覚やなんとなく懐かしいデジャブな雰囲気を楽しむことができます。

### ☆コミュニティ・スクール「地域とともにある学校づくり」研修会で発表します

8月30日に高知県教育委員会の主催で「地域とともにある学校づくり」研修会が開催されます。これまでの香美市の取組が評価をされ、発表の機会をいただきました。発表では、香美市教育委員会と片地小学校の取り組みを発信します。

これを機に、発表の概要を共有することと合わせて、香美市の「コミュニティ・スクール地域とともにある学校づくり」、「よってたかって教育」の意義と目的を再確認し、2学期以降の保育園・小中学校の運営の核として引き続き「地域とともにある学校」の実現に取り組んでまいりたいと存じます。

### ◇ 発表内容の概要 | 香美市教育委員会

#### ○香美市「地域とともにある学校」の目的

- ・子供の育ちを「よってたかって」みんなで考え、地域の学びや活動と子供をつなぎ、その成果を香美市の未来へつなぐことを目指します。
- ・保・小・中が各中学校区の特徴を生かした一貫教育の実現を図り、地域の担い手を育てます。
- ・学校を核とした地域づくりに貢献します。

- 各学校で「地域学校協働本部」を設置し、幅広い地域住民の皆さんに教育活動に参加してもらっています。

大栃保育園・小中学校では、学校行事支援部会、学習活動支援部会、環境整備支援部会、交通パトロール支援部会の4つの部で組織さ

れ、多様な活動が行われています。

8月2日に開催された本部会にはコミュニティ・スクール運営協議会のメンバーも加わり、30名を超える地域の皆さんが参集され活発な話し合いになりました。



【香美市よってたかって教育イメージ図】

- 地域資源を活用した「探究的な学び」をベースとする特色ある教育課程を実施します。
- コミュニティ・スクールを活用して「キャリア教育」に取り組みます。

全市統一した取組として、「キッズチャレンジデイ(小)」、「キャリアチャレンジデイ(中)」、「よってたかって生涯学習フォーラム(保・小・中・高・大：地域・各種団体)」などに取り組みます。

## 2 片地小学校の取組

学校教育目標：「見つけ 考え 学び合い  
ともにやりぬく 片地の子」

片地の子供を育てる会」に参加すると、片地小学校が地域とともにある学校であることを強く実感します。

提案された議題について、率直な意見交換が行われ、結果、「では、これで行きましょう」と方向性が明確になり、運命共同体としての動きがスタートします。

こうした日頃の地域との協働活動が行われる学校だからこそ、4年連続で「児童学校満足度100%」を達成できているのだと思います。

片地小学校の子供たちは、「知りたい やりたい わかりたい やってみる かたじっ子」の子供像どおり、どの授業でも、何の行事でも子供たちが主体的に取り組む姿が印象的です。

取組の詳細については、「Fureai-cloud」

(ふれあい通信ポータルサイト)片地小学校をぜひご覧ください。

## ☆8月15日 終戦の日

8月15日は「戦没者を追悼し平和を祈念する日」です。終戦以来76年の歳月が流れました。戦後生まれの人が8割を超え、戦時下を生き抜いてこられた人々の体験を直接お聞きする機会も少なくなってきました。コロナ禍のなか、「ヒロシマ」「ナガサキ」「オキナワ」の修学旅行もできなくなっています。

夏休みにはテレビで戦争や原爆、平和に関する特集番組が多く放映されます。最近の子供たちはテレビを見る機会も減ってきていますが、録画して視聴するなど工夫していただき戦争と平和について子供たちと一緒に考えるきっかけとしたいものです。



☆多ふれんどの一むの平山相談員さんが、折り紙で作成した作品を、季節ごとに吉田所長さんが教育長室に架け替えに来てくださいます。今夏は、空飛ぶペンギンとひまわり畑の作品です。

すべての子供たちにとって楽しい夏、良い思い出が増える夏であることを心から願っています。